

あさひ環境通信 vol. 13

5月号 発行日:平成28年5月10日

発行:朝日メンテナンス工業(株) 統轄本部 バリュー推進部

名古屋学芸大学管理栄養学部と 2016年度共同研究契約を締結しました

～研究課題～

【感染症及び食中毒予防のための環境清掃、洗浄、殺菌方法の提案と評価に関する研究】

弊社は、2014年度より締結している学術共同研究契約の継続をいたしました。研究目的は、提携する(有)ホテイ産業研究所の『CBS®(クリーンバイオシステム®)』の微生物学的妥当性の検証、評価とし、CBSを用いた環境清掃、洗浄、殺菌方法を提案し、当該方法の妥当性を科学的手法で明らかにするというもので、主任研究員として岸本満教授が、客員研究員として植田悠一、松岡弥生バイオアドバイザー(BA)の2名が参画します。



また、今年度から、弊社の『朝日 バイオ・DNA解析研究所』の平塚哉所長(工学博士)・江崎聡研究員(農学博士)がバイオ解析で参画します。この解析技術支援によりバイオ汚染状況分析が飛躍的に向上する環境が整いました。

なお、2014年度より2015年度まで継続研究課題とした【微生物を用いた公共施設の除菌、感染防御に関する研究】は昨年9月1日、日本防黴防菌学会・第42回年次大会で岸本主任研究員・渡邊客員研究員がポスター発表し、本年3月2日と3月3日、新潟大学農学部での第6回 International Meeting for the Development of Integrated Pest Management (IPM・総合的作物管理技術)国際シンポジウムの国際大会プロシーディング(講演要旨集)に岸本主任研究員が投稿されました。



※『朝日 バイオ・DNA解析研究所』
入居ビル

弊社の「バイオケアシステム®」はトイレを対象として開発されましたが、今後は、給食調理施設を対象としての研究ステージに引き上げます。このことは、調理施設環境全域全般に及ぶもので、着替え用ロッカールーム、専用トイレ、食材搬入、食材洗浄・調理・配膳・食器洗浄などの作業エリアを汚染地域、非汚染地域にゾーニングするシステムチックな調理機能に対応します。

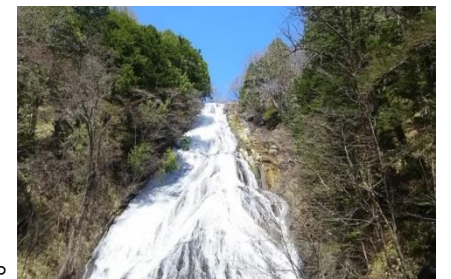


※給食調理施設イメージ

朝日・バイオケアシステム® レポート

日光国立公園内トイレ

平成28年4月19日(火)、遅い春を迎える山深い「日光国立公園」ですが、こんな春の自然の息吹を堪能される来訪者をお迎えするため、「奥日光湯滝」の公衆トイレ(日光市管理)のフォローアップ清掃を当社スタッフにより行いました。この公衆トイレは「バイオケアシステム®」が導入されており、システムにそった日常清掃を補完することでシステムが維持されています。なお、「日光国立公園」は群馬、栃木、福島 of 三県にまたがる那須火山帯に属する山岳地で、白根山をはじめ、古くから信仰の山として名高い男体山、今なお火山活動が活発な那須岳などの山岳地に加え、山麓に広がる高原。これに、火山活動に起因する湖沼や壮大な瀑布、紅葉の美しい渓谷が彩りを添えています。



※奥日光湯滝



※奥日光湯ノ湖



※奥日光湯滝駐車場 公衆トイレ

皇居外苑トイレ

平成28年4月5日(火)、平成28年度春季皇居乾通り一般公開(平成28年3月25日(金)～4月3日(日))の終了をもって、当社清掃スタッフによる「皇居外苑トイレ」のフォローアップ清掃を行いました。公開期間中には、508,010人の方々のご来場があり相当数のトイレのご利用でした。

今回のフォローアップ清掃は「バイオケアシステム®」の一環として、システムにそった日常清掃を補完する効果的な方法として評価を頂いております。一年を通じて修学旅行生や外国人旅行者の利用も多いトイレですが、このように定期清掃も組入れることによりトイレ清掃管理を充実させています。



※宮内庁HPより



※フォローアップ清掃の様子

石川県・七尾市役所内トイレに『バイオケアシステム®』正式導入！！

平成 28 年 4 月 1 日（金）、石川県の北部、能登半島の中央に位置する七尾市の市役所庁舎（5 階建て）の全トイレに「バイオケアシステム®」が正式導入されました。これは昨年一部トイレで試験導入したことが評価されたものと考えております。なお、七尾市は、北は穴水町、西は志賀町、南は中能登町と富山県氷見市と接しています。地名の由来は日本で最大規模の山岳城「七尾城」が築かれていた城山に七つの尾根（松尾、竹尾、梅尾、鶴尾（菊尾）、亀尾、竜尾、虎尾）があったのが「七尾」の名とされています。

（「株加能建物管理」様（朝日協力会社全国協議会加盟会社）を通じて納品しております。）



※七尾市役所イメージ写真



※庁舎内 1 階トイレ

石川県・能登歴史公園内トイレに『バイオケアシステム®』継続導入！！

平成 28 年 4 月 1 日（金）、北陸新幹線開通 2 年目を迎え、多くの観光客で賑わいを見せる北陸路にある「能登歴史公園（石川県鹿島郡中能登町石動山）」内トイレに「バイオケアシステム®」が継続導入されました。なお、能登歴史公園は、七尾鹿島地域に散在する、歴史的に重要な史跡群の中核施設となるよう計画された都市公園で、このうち石動山地区は、古代より近代まで

山岳信仰の霊山として栄え、最盛期には 3000 人余りの宗徒を擁していたといわれています。これらの遺構や文化財を見学できる散策路などが整備されています。（「株加能建物管理」様（朝日協力会社全国協議会加盟会社）を通じて納品しております。）



※道任坊の石垣
（中能登町役場HPより）



※三角池周辺（中能登町役場HPより）



※能登歴史公園内トイレ

環境対応清掃システムの開発に着手しました！

「ノーバフ・フロアケアシステム」の取り組み

◇はじめに…

大型商業施設のフロア管理において、現在、一般的に「高品質な床面管理手法」と呼ばれる作業手法は、床表面洗浄作業後ワックスを 8 層から 10 層塗布してワックス皮膜を形成し、床面バフing（研磨）により光沢を上げて、床面の美観を維持する「ドライ管理」が主流です。今回、当社は新しいフロアケアシステムの開発をすすめ、商業施設で検証を開始します。

◇ノーバフ・フロアケアシステムとは？

天然鉱石から生成する研磨剤微粒子を含ませた素材の洗浄パットを自動床洗浄機に取り付け、床表面洗浄作業をすることにより床表面のキズを修復し、同時に光沢還元できるシステムです。ワックス皮膜を多層形成しなくても（塗り重ねが少なくても）床面の美観が向上し、高品質な床面管理ができます。また、このシステムで使用するワックスは歩行によるキズが付きにくい耐久性の高い、「ウエット管理」（床面バフing作業をやらない床面管理手法）専用ワックスを使用します。

◇運用方法は…

- ・日常清掃（毎日の清掃）
専用パットを取り付けた自洗機で洗浄（磨き）作業をする。
- ・定期清掃（ワックス補修作業）
年 4 回（3 ヶ月に 1 回）程度ポリッシャー床表面洗浄後、専用ワックスを 1～2 層塗布して、高品質な床面を維持する。

※自洗機洗浄

◇期待される効果…

- ① 美観の向上
専用パッドによる自洗機洗浄を行うと、研磨の効果が同時に現れ、ワックスの塗り重ねが少なくても床面の美観が向上します。さらに定期清掃で使用する高耐久の専用ワックスにより、少ない定期清掃回数で高品質な床面管理ができる作業システムです。
- ② 環境に優しい～「脱洗剤・脱汚水」
定期清掃の回数と定期的に行う剥離清掃の回数が削減でき、洗浄汚水や剥離汚水の排出を劇的に削減でき、環境にやさしい作業システムといえます。
- ③ 安心・安全
バフingマシン作業による事故がなくなり、毎日の日常清掃が安全な作業環境となります。

※定期清掃

〔編集後記〕

朝日 バイオ・DNA解析研究所開設、名古屋学芸大学との学術共同研究契約継続締結。このような社内及び大学との未来への挑戦とも云うべき取り組みができたことは、朝日にとって極めて明るい出来事であるとともに、よくここまで来たという感慨がある。積極果敢な意思をもつ同僚と、しなやかに民間企業ニーズの理解を受け入れてくれる高等教育機関のご協力の賜物と感謝せずにはいられない。（口）